

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 二俣川教室

保護者等数(児童数) 33名

回収数 24件(割合 72%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3	0	3	当日の利用人数が分からないから 何とも言えない	療育現場を実際に見れるような 機会を提供する
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	6	当日の利用人数が分からないから 何とも言えない	療育現場を実際に見れるような 機会を提供する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリ アフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	20	1	0	3	写真での掲示が多い	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	24	0	0	0		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	24	0	0	0	よく考えてくれている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	23	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が 作成されていると思いますか。	24	0	0	0	よく考えてくれている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	23	0	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	20	2	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の こどもと活動する機会がありますか。	4	3	8	8		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担 等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	23	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等 が行われていますか。	12	6	3	3		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	0	0		
	16	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	6	0	1	助言してほしい	送迎時に少しでも保護者さんの 話を聞き出せるような言葉かけ を試みる
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	11	5	1	7		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	20	2	0	2	HUGや電話で話を聞いてくれる	

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	3	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	2	0	0	楽しみにしている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	1	毎回楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	0	0	子どもだけの報告だけだと不安になるがHUGで楽しんだこと、参加できなかったことを詳しく、写真も付けて書いてくれるから安心して通わせられる	

公表日

2026年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 二俣川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	自由遊びで教室を分けている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	基準以上に配置されている	オムツ交換時など、時々足りないと感じる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3		窓枠が出っ張っていたり段差がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	衛生管理を心地よく過ごせる環境を整えている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4		静養室が収納スペースになってしまっている
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	保護者会や評価表に出た意見から連絡帳をデジタル化した	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	昼食後のミーティングが時々ある日頃の会話で情報交換をし、社員ミーティングで話し合う	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	2		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	定期的に保護者との面談を行い、作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	児発管が中心となり職員の意見を集めて作成している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	利用時にすぐ確認できるよう、計画書を簡易化して収納している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	複数人で相談して計画している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	テーマに沿った内容のプログラムを作成している	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	必要に応じて療育前に情報共有する時がある	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	必ずではないが、送迎時や昼食後に気になる点などを話し合っている	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	気になったことはモニタリング欄に記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	日々の様子を連絡帳以外に記入している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	時折参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4		連携しようとしているが十分な体制は整えられていない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	幼稚園や保育園が連絡をとっていいと許可が下りた際に情報共有しているケースがある	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	要望があった際に電話や書面での情報共有をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)		9			
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		関りはない 幼稚園への訪問は断られることが多い	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	2	HUGでの連絡手段を通じて日々の悩みなどの問い合わせが増えた随時連絡を取れるようにしている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	7		勉強会を開いてほしいとの意見をもらっているが開催するまでにいたっていない	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	作成後に説明している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	作成後に説明している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3	年2回保護者会を開催している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1	連絡があった日にすぐ対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	3	HUGで情報提供しているが、確認していない保護者もいる	紙面での活動通信は発行していない 二俣川教室専用のHPがあるといい
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	配布物など特に留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1	視覚化カードを活用している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2		ご家族に周知できていない 防犯訓練は行っていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	3	契約時に確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	誰でもいつでも書けるように用紙が用意されている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1	動画研修をしている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	4	契約時に説明している	組織的な決定と保護者に十分な理解がされているか分からない